

重点目標一覧表

担当部局名	消防部
-------	-----

【平成28年度重点目標】

【平成29年度重点目標】

重点目標	消防団体制の充実・強化		重点目標	消防団体制の充実・強化	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
1	消防団活動の住民等への周知及び理解による消防団員の確保 （消防団定数2,270人）	消防団員数2,169人（年度当初比30人増）達成度96% (1)市新規採用職員研修で、周知及び入団勧誘（6人入団） (2)自治会へ入団勧誘の協力依頼 (3)「広報うえた」による活動紹介及び入団募集を実施 (4)成人式において歓誘チラシの配布 (5)消防団協力事業所の更新64件、新規認定9件 (6)信州消防団員応援ショップ事業 登録店舗90件	消防団活動の住民等への周知及び理解による消防団員の確保	通年 (1)消防団員の定数確保（2,270人） (2)大学生等の入団促進	
	消防団拠点施設及び消防団装備の充実 (1)消防団詰所の新築工事 (2)消防車両の更新 5台 （消防ポンプ車2台・軽積載車3台） (3)小型動力ポンプの更新 (4)安全確保のための装備品の配備	消防団拠点施設及び消防団装備の整備 (1)本原分団工事完了 達成度100% (2)5台納車 達成度100% （消防ポンプ車2台・軽積載車3台） (3)3台納入 達成度100% (4)納入 達成度100% 救助用半長靴 500足、耐切創性手袋 500双、 防塵メガネ 29個	消防団装備の充実 (1)消防車両の更新7台 （消防ポンプ車1台・軽積載車4台・指令車1台・軽照明車1台） (2)小型動力ポンプの更新3台 (3)安全確保のための装備品の配備	年度内 (1)7台（消防ポンプ車1台・軽積載車4台 指令車1台・軽照明車1台） (2)3台 (3)安全確保のための装備品の配備 ・救助用半長靴500足 ・耐切創性手袋500双	
2	市民・事業所への防火対策の推進	内訳（実施数/数値目標） (1)160/160件実施 達成度 100% (2)143/200回実施 達成度 72% (3)1,084/700回実施 達成度155% (4)12/12回実施 達成度100%	市民・事業所への防火対策の推進	通年 (1)高齢者宅防火訪問 160件 (2)防火講習等 150回 (3)立入検査 800件 (4)防火広報 12回	
	(1)高齢者への住宅防火対策の指導 (2)防火講習、各種訓練の開催 (3)事業所への立入検査の実施 (4)広報誌等の活用による周知 幼少年への防火・防災知識の普及	内訳（実施数/数値目標） 90/120回実施 達成度 75% 内訳（実施数/数値目標） 受講者 1,413/1,400人 達成度 101%	(1)高齢者への住宅防火対策の指導 (2)防火講習、各種訓練の開催 (3)事業所への立入検査の実施 (4)広報誌等の活用による周知 幼少年への防火・防災知識の普及	通年 防火・防災教育 100回 通年 普通・上級救命講習受講者 1,400人	
3	市民に対する応急手当の普及促進		市民に対する応急手当の普及促進		
	重点目標 消防水利の充実・強化	具体的な重点取組項目（箇条書き）	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	
3	耐震性防火水槽の設置	内訳 4基完成 達成度100%	耐震性防火水槽の設置	年度内 4基	
	消火栓の新設	内訳 5基完成 達成度100%	消火栓の新設	年度内 5基	
4	重点目標 上田広域消防本部体制の充実・強化の推進	具体的な重点取組項目（箇条書き）	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	
	消防本部庁舎の耐震化及び増改築 消防本部車庫棟及び資材庫の新築工事 消防車両等資機材の整備 (1)水槽付消防ポンプ自動車の更新（東御署・依田窪南部署） (2)人員搬送車の更新（総務課）	内訳 平成29年1月工事完了 達成度100% 内訳 (1)1月2台納車 達成度100% (2)3月納車 達成度100%	消防車両等資機材の整備 (1)水槽付消防ポンプ自動車の更新（真田署） (2)高規格救急自動車の更新（中央署） (3)指揮隊車の整備（警防課） 広域連携訓練等の実施 (1)大規模訓練 (2)他機関との合同訓練 (3)その他の広域内訓練 (4)救急救命士合同訓練	年度内・3台 (1)水槽付消防ポンプ自動車 (2)高規格救急自動車 (3)指揮隊車 通年 (1)3回 (2)5回 (3)10回 (4)4回	

評価基準 [: 目標を上回る達成] [: 目標どおり達成] [: 目標未達成の部分あり] [× : 全て目標未達成]

市長指示事項	市長指示事項
・有事を想定し、様々な場面に対応できるよう取り組むこと。	・消防団への大学生の入団促進、確保に向け、関係団体とよく協議すること。 ・訓練については抜かりなく取り組むこと。